

2010年度

科目名	保育内容(言葉)		
担当教員	輿石 由美子		
配当	教福3(4214)	コード	43400
開期	前期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	乳幼児期にふさわしい「言葉」にかかわる生活を考える		
目的と概要	<p>今、日本の教育場面では、言語能力を豊かにするような経験の場が非常に少なくなっており、子ども達の言語表現能力が欠けてきていると言われていいます。子ども達の言葉の育ちには、豊かな環境の中で豊かに遊んで、豊かな表現力を身につけていくことが必要であり、そのような生活が保育現場にも求められています。</p> <p>本科目では、「保育所保育指針」及び「幼稚園教育要領」に示された保育内容の領域「言葉」がめざしている事柄を、具体的な事例を通して学習します。また、その中では保育における子ども理解や子どもへのかかわり方など、保育者としてのあり方も学んでほしいと考えています。</p>		
成績評価法	平常点及び授業時のミニレポート(40%) 絵本ノート・教材の作成及び学期末のレポート(60%)		
テキスト	新保育ライブラリ 保育内容・方法を知る「保育内容 言葉」/ 小田豊・芦田宏編著 / 北大路書房		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	<p>子どもの言葉の育ちには、周囲の人々の言葉が大きく影響します。保育者は日常生活の中で、心から湧き出る言葉、美しい言葉を遣うことが大切です。自分自身の日頃の言葉を振り返りながら、学んでください。</p> <p>また、保育者には柔軟な発想、豊かな感性も求められます。絵本や玩具に関心をもち、実際に手に取り、目を通し、遊んでみてください。積極的な教材研究を期待します。</p>		
講義計画			
第1回	オリエンテーション — 保育内容「言葉」で何を、どのように学ぶのか		
第2回	「言葉の獲得」と子育て — 言葉の発達の道筋、子どもの育ちにかかわる周囲の人々の言葉		
第3回	領域「言葉」 — 領域「言葉」のめざすもの、他の領域とのかかわり		
第4回	言葉を育てる環境(1) — 「聞く楽しさ」、「言葉で考え、表現する喜び」を実感する生活		
第5回	言葉を育てる児童文化と地域文化(1) — お話、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター等		
第6回	「手作り教材」の作成 — 言葉の育ちを考えた、年齢にふさわしい手作り教材の創造		
第7回	言葉を育てる環境(2) — 「話し言葉」を育て、「書き言葉」への興味や関心を育てる生活		
第8回	言葉を育てる児童文化と地域文化(2) — 言葉遊び、わらべ歌遊び、ごっこ遊び、人形劇、劇遊び等		
第9回	「保育実践」から学ぶ — 年齢にふさわしい保育の展開を考える		
第10回	言葉の育ちと保育 — 人とかかわる中で身に付けていく「人とつながる言葉」		
第11回	保育者の役割と援助(1) — 話したくなる体験、思わず耳を傾けたいくなる言葉		
第12回	保育者の役割と援助(2) — 子どもの話し合いを豊かにする保育者のかかわり		
第13回	言葉の育ちにかかわる諸課題(1) — 情報化社会における言葉の問題、言語力の育成と確かな学力		
第14回	言葉の育ちにかかわる諸課題(2) — 言葉でのかかわりに配慮を必要とする子どもへの対応		
第15回	まとめ — 豊かな言葉を育てる生活の創造		